

ホテル・レストランの食器を洗浄・管理するスチュワード事業、ホテルの朝食レストランや従業員食堂などの運営を受託するフードサービス事業、館内の音響・映像設備の運用支援などを手掛ける空間プロデュース事業を展開し、ホテル運営をバックヤードから支えてきたCSSホールディングス（東京都中

央区）。昨年12月に創業40周年の節目を迎え、これまで培った実績や知見、ネットワークを活かし、新たな価値を創出すべく、新たなプロジェクト「X-value（クロスバリュー）ユニット」を始動した。代表取締役社長CEOの水野克裕氏にユニット立ち上げの狙いと具体的な取り組みを聞いた。



代表取締役社長CEO 水野克裕氏

知見やノウハウを共有する新プロジェクト 「CSSホールディングス」 付加価値の高い業務遂行を支援する

それぞれの知見を横断的に活用する

「X-value（クロスバリュー）ユニット」による新たな価値創出」を掲げた。水野 当社はホテルやレストランの食器を洗浄・管理するスチュワード業務を担う会社として1984年に創業し、現在はスチュワード事業のほか、フードサービス事業と空間プロデュース事業を展開しています。

「X-value（クロスバリュー）ユニット」を創設し、バックヤードを支え、業界が抱える人手不足の課題に対応してきましたが、今後これに加えて、課題解決に繋がるプラットフォームの役割を担いたいと考えています。そこで、当社ならびに取引先のホテル・レストラン、社外のパートナー企業と相互に連携し、それぞれが持つ知見やノウハウを横断的に結び付けたり掛け合わせることで、課題解決や新たな価値創出に繋げることを目的とする「X-value

「X-value（クロスバリュー）ユニット」を創設し、バックヤードを支え、業界が抱える人手不足の課題に対応してきました。同ユニットは各事業のベテランが特命特化で活動し、彼らの経験と人脈を活かしながら運営支援の領域をさらに広げたいと考えています。

「X-value（クロスバリュー）ユニット」を創設し、バックヤードを支え、業界が抱える人手不足の課題に対応してきました。同ユニットは各事業のベテランが特命特化で活動し、彼らの経験と人脈を活かしながら運営支援の領域をさらに広げたいと考えています。

「X-value（クロスバリュー）ユニット」を創設し、バックヤードを支え、業界が抱える人手不足の課題に対応してきました。同ユニットは各事業のベテランが特命特化で活動し、彼らの経験と人脈を活かしながら運営支援の領域をさらに広げたいと考えています。



（左から）CSSホールディングス代表取締役 野口緑氏、同代表取締役社長 水野克裕氏、TechMagic代表取締役社長 白木裕士氏

自動調理技術のベンチャーと提携

具体的なプロジェクトも動き出した。

「X-value（クロスバリュー）ユニット」による新たな価値創出」を掲げた。水野 当社はホテルやレストランの食器を洗浄・管理するスチュワード業務を担う会社として1984年に創業し、現在はスチュワード事業のほか、フードサービス事業と空間プロデュース事業を展開しています。

「X-value（クロスバリュー）ユニット」を創設し、バックヤードを支え、業界が抱える人手不足の課題に対応してきました。同ユニットは各事業のベテランが特命特化で活動し、彼らの経験と人脈を活かしながら運営支援の領域をさらに広げたいと考えています。

「X-value（クロスバリュー）ユニット」を創設し、バックヤードを支え、業界が抱える人手不足の課題に対応してきました。同ユニットは各事業のベテランが特命特化で活動し、彼らの経験と人脈を活かしながら運営支援の領域をさらに広げたいと考えています。

「X-value（クロスバリュー）ユニット」を創設し、バックヤードを支え、業界が抱える人手不足の課題に対応してきました。同ユニットは各事業のベテランが特命特化で活動し、彼らの経験と人脈を活かしながら運営支援の領域をさらに広げたいと考えています。

「X-value（クロスバリュー）ユニット」を創設し、バックヤードを支え、業界が抱える人手不足の課題に対応してきました。同ユニットは各事業のベテランが特命特化で活動し、彼らの経験と人脈を活かしながら運営支援の領域をさらに広げたいと考えています。

「X-value（クロスバリュー）ユニット」による新たな価値創出」を掲げた。水野 当社はホテルやレストランの食器を洗浄・管理するスチュワード業務を担う会社として1984年に創業し、現在はスチュワード事業のほか、フードサービス事業と空間プロデュース事業を展開しています。

「X-value（クロスバリュー）ユニット」を創設し、バックヤードを支え、業界が抱える人手不足の課題に対応してきました。同ユニットは各事業のベテランが特命特化で活動し、彼らの経験と人脈を活かしながら運営支援の領域をさらに広げたいと考えています。

「X-value（クロスバリュー）ユニット」を創設し、バックヤードを支え、業界が抱える人手不足の課題に対応してきました。同ユニットは各事業のベテランが特命特化で活動し、彼らの経験と人脈を活かしながら運営支援の領域をさらに広げたいと考えています。

「X-value（クロスバリュー）ユニット」を創設し、バックヤードを支え、業界が抱える人手不足の課題に対応してきました。同ユニットは各事業のベテランが特命特化で活動し、彼らの経験と人脈を活かしながら運営支援の領域をさらに広げたいと考えています。

「X-value（クロスバリュー）ユニット」を創設し、バックヤードを支え、業界が抱える人手不足の課題に対応してきました。同ユニットは各事業のベテランが特命特化で活動し、彼らの経験と人脈を活かしながら運営支援の領域をさらに広げたいと考えています。

事業領域別の戦略

スチュワード事業

ホテルの新規開業計画や国内での大型イベント開催など、事業機会の余地は引き続き大きいと見ています。働き方や社会保障環境の変化も見据えつつ、X-valueユニットと連携しながらスチュワード人材の可能性を広げ、キャリアデザインを描けるような環境整備とコンサルティング・共創事業にも取り組みます。

業務サポートを実現できていない地方への進出や客室清掃などの業務分野では、M&Aによる事業拡大なども視野に入れていきます。

フードサービス事業

ホテルの新規開業が相次いだことなどから、ホテルの朝食レストランおよび従業員食堂の受託は順調に伸びています。また、高齢者向けのライフケア市場も拡大し、新たな商品・サービスのニーズも活発なことから、さらなる新規開拓に向けた営業人材の強化を図ります。

調理の自動化技術や完全調理済食品などの活用を進め、コストパフォーマンス評価を維持しながら対応していきます。

空間プロデュース事業

音響設備や監視カメラには堅実な更新需要があり、新たな製品・ソリューションの裾野も広がっています。また、エンターテイメントの感動を演出するトータル空間演出システムのニーズも拡大しています。

当社はマーケティングの多様化と収益マネジメントの強化を図り、設計施工・保守などのパートナーと連携し、トータルプロデュースの強みを発揮していきます。他事業の顧客関係性を活かしたソリューションの提案や、産学連携の推進による「環境」をコンテンツ化する空間プロデュースにも力を入れていきます。



最高の“おもてなし”を支える 最適なパートナーに

SUPPORT THE HOSPITALITY



CSSホールディングスは2024年12月に40周年を迎えました。

